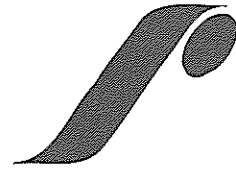
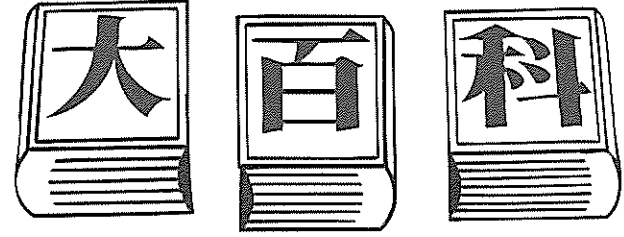


石川総合理解講座

～石川県民大学校放送利用講座～

いしかわ



まなびの心
かがやく人生

番組へのご意見は……
●石川県教育委員会事務局生涯学習課
☎(076)225-1836
●テレビ金沢 報道制作局制作部
☎(076)240-9036

～手話通訳つき放送～ **放送予定表** 平成27年4月～9月

テレビ金沢 日曜 午前7:00～7:30

提供／石川県教育委員会 企画・制作／テレビ金沢

シリーズ・いしかわ再発見・かがやく人々(全15回)

石川県は金沢・加賀・能登それぞれに多様な文化が受け継がれています。大切なふるさとの風土を生かしながら伝統を受け継ぐ人、また新しい試みでさらに磨きをかけている人など、これまで気が付かなかった石川県の姿を紹介しながらふるさとの魅力を学んでいきます。(このシリーズは10月以降も続きます)

第1回 4月19日(日)放送 『クール・カナザワ ～外国人が見た城下町～』

●近年、金沢では金沢弁と英語が飛び交う国際的なカフェが出来るなど国際化が進んでいます。こうした外国の人たちに城下町・金沢はどのように映っているのでしょうか。金沢城や美しい庭園、加賀料理や和菓子、伝統工芸だけではなく私たちが気付いていない意外な魅力を探ります。

第2回 5月10日(日)放送 『古民家再生 ～よみがえる加賀の町家～』

●金沢の薫り高い文化を感じさせる「ひがし茶屋街」の界隈には、町家造りの建物を再生したカフェなど雰囲気のある店がいくつもあります。また小松市では「こまつ町家文庫」や廃寺を活用したくつろぎのスペースが地域の人々に親しまれています。加賀市大聖寺界隈ではアトリエなどに町家の活用が進んでいます。

第3回 5月31日(日)放送 『輪島塗の美意識 ～うるしがつなく伝統～』

●輪島朝市にほど近い「わいち通り」には数多くの漆器店が並びます。100を超える工程により堅牢・優美で知られる輪島塗の器は、海の幸や「柚餅子」、「かいもち」といった能登ならではの食材・料理を鮮やかに引き立ててきました。その一方で漆の継承のために地元産漆の植林が進められ世界に誇る漆文化が継承されています。

第4回 6月21日(日)放送 『世界へ発信 ～苔の里と南加賀の自然～』

●粟津温泉に近い小松市の山里にびっしりと整備された苔の庭園があります。多様な苔が見られることで全国でも屈指の苔庭といわれる「苔の里」は住民組織によって守られ、梅雨時期には鮮やかな深緑の世界を見せてくれます。海外にも発信されたことを機に、スウェーデン・ウメオ市との苔庭造りを通じた国際交流が図られています。

第5回 7月12日(日)放送 『伝統産業の未来 ～加賀毛針の技～』

●鮎釣りに欠かせない毛針の中でも、美しさと気品にあふれて芸術品としても評価が高い加賀毛針。400年余の歴史の中で4,000種類もの毛針を作ってきた目細家は、昔ながらの伝統の技を受け継ぐ一方で、野生動物保護の視点から人工の素材を用いた毛針やまたそれを使ったアクセサリー作りなど新しい取り組みにも挑戦しています。

第6回 8月2日(日)放送 『霊峰からの恵み ～水が育む発酵食品～』

●1年でもっとも躍動的な季節を迎える白山。冬の間に降り積もった雪は目に見える流れだけではなく、地下深くに染み込んで湧き水となります。この湧き水は日本酒で初めて産地指定された「白山菊酒」をはじめ、醤油や酢、奇跡の発酵食品と言われる「フグの糠漬け」など多種多様な発酵食品に生かされています。

第7回 8月23日(日)放送 『天然の旨味 ～奥能登・塩街道～』

●かつて石川県の長い海岸線では塩田による塩づくりが盛んに行われていました。今もその伝統の製法を受け継いでいる奥能登では、歴史を学ぶだけではなく塩づくりの体験もできます。この揚げ浜の塩を生かした塩サイダーなどの商品化や素材を生かした料理を提供するカフェなど、天然の旨味が新たな食の楽しみを作り出しています。

第8回 9月20日(日)放送 『若きチカラ ～能登の祭りと学生の絆～』

●夏から本格化する能登の祭りは勇壮なキリコが特徴ですが、近年は担ぎ手が揃わないという悩みを抱えています。そんな中、金沢の大学生がいくつもの祭りに参加して過疎の集落を盛り上げています。男子学生は地元の男衆たちに混ざってキリコを担ぎ、女子学生は祭り料理づくりを手伝うなどその土地の風土にも触れて、能登に元気をもたらしています。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)

県民大学校については 石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。

〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階

電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585

【大百科セレクション・再放送】

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。

10月11日(日)放送 『哲学にふれる ～かほく市～』(ふるさと探訪シリーズ・わが街こころの風景⑦)

●かほく市は今なお哲学界に大きな足跡を刻み続ける哲学者・西田幾多郎のふるさとです。幾多郎は「西田哲学」と呼ばれる哲学体系を築き上げ、著書『善の研究』は当時の旧制高等学校の生徒にとって必読書でした。また、姪の高橋ふみも日本初の女性哲学者として世界に羽ばたくなど、かほく市は哲学の香り漂う街といえます。

(平成22年8月22日放送)